

第 9 期 事 業 報 告 書

令 和 元 年 度

平成 3 1 年 4 月 1 日から
令和 2 年 3 月 3 1 日まで

公益財団法人 日 本 腎 臓 財 団
東京都千代田区九段南三丁目 2 番 7 号

目 次

I	事業の状況	P. 1
II	処務の状況	P. 8

I 事業の状況

1. 概況

- (1) 経済界、医業界の理解と関係諸学会、諸団体および一般の方々の協力を得て、総額137,319,999円の募金を行った。
- (2) 賛助会員の増強に努め、特に愛知県、大阪府において会員が増加した。
- (3) 研究機関・研究グループの研究調査に対する助成、学会・研究会に対する助成、公募助成、J-DOPPS第7期調査（日本における血液透析の治療方法と患者の予後についての調査）、透析療法従事職員研修、褒賞、雑誌発行、CKD（慢性腎臓病）対策推進などの事業は順調に遂行され、事業費は総額339,154,360円を支出した。
- (4) 透析療法従事職員研修について、集中講義及び実習研修を行った。
- (5) 日本腎臓財団各賞の表彰を行い、受賞者座談会記録を作成した。
- (6) 腎不全医療関係者に対して公募助成を行った。
- (7) J-DOPPS第7期調査研究を開始した。
- (8) 雑誌「腎臓」VOL. 42を発行した。
- (9) 雑誌「腎不全を生きる」VOL. 60、VOL. 61を発行した。
- (10) ACジャパンの2020年度支援キャンペーンに応募し採択されたことから、慢性腎臓病（CKD）啓発活動のための公共広告開始に向け準備を進めた。
- (11) 「CKD対策推進のための市民公開セミナー」を東京で開催した。
- (12) 令和元年10月、厚生労働省、青森県などが行った臓器移植普及推進月間行事に主催として協力した。
- (13) 総事業費支出に対する助成金支出率は30.8%である。
期末基本財産は926,892,100円である。

2. 募金状況

経済界、医業界、関係諸学会、諸団体および一般の方々の協力を得て総額137,319,999円の募金を行った。

3. 賛助会員

- (1) 令和2年3月末の会員数は839会員（979口）となり、内訳は次の通りである。
 - 1) 団体A会員 医療法人又はその他の法人及び公的・準公的施設（1口50,000円）

特別会員 a（10口以上）	1会員（10口）
特別会員 b（5～9口）	4会員（21口）
一般会員（1～4口）	641会員（682口）
 - 2) 団体B会員 法人組織でない医療施設、医局又は団体（1口25,000円）

一般会員（1～4口）	51会員（56口）
------------	-----------
 - 3) 個人会員 個人（1口10,000円）

特別会員 a（10口以上）	3会員（30口）
特別会員 b（5～9口）	6会員（30口）
一般会員（1～4口）	133会員（150口）

(2) 平成31年4月～令和2年3月末の入会者は次の通りである。

1) 団体A会員 24会員(24口) (敬称略・順不同)

一般会員 (1～4口)

東 京・ 東レ・メディカル株式会社
神奈川・ 社会医療法人財団 石心会 川崎クリニック
埼 玉・ 医療法人財団 聖蹟会 埼玉県中央病院
愛 知・ 医療法人 宝美会 総合青山病院
愛 知・ 医療法人 名古屋栄クリニック
愛 知・ 医療法人 新生会 十全クリニック
愛 知・ 社会医療法人 名古屋記念財団 平針記念クリニック
愛 知・ 医療法人 豊腎会 保見クリニック
愛 知・ 医療法人 静心会 桶狭間病院 藤田こころケアセンター
愛 知・ 藤田医科大学病院
愛 知・ 医療法人 豊腎会 東加茂クリニック
愛 知・ 医療法人 贈恩会 知多小嶋記念病院
大 阪・ 医療法人 正和会 協和病院
大 阪・ 医療法人 健浩会 中西クリニック
大 阪・ 社会医療法人 寿楽会 寿楽会クリニック
大 阪・ 社会医療法人 寿楽会 ハーバータウンクリニック
大 阪・ 医療法人 秀悠会 中川クリニック
大 阪・ 社会医療法人 三上会 東香里病院
大 阪・ 社会医療法人 信愛会 暁生会脳神経外科病院
大 阪・ 医療法人 宝持会 池田病院
大 阪・ 医療法人 藤井会 石切生喜病院
大 阪・ 医療法人 計行会 高橋計行クリニック
大 阪・ 社会医療法人 頌徳会 日野クリニック
高 知・ 医療法人 久武会 もえぎクリニック

2) 団体B会員 該当無し

3) 個人会員 11会員(13口) (敬称略・順不同)

一般会員 (1～4口)

東 京・ 猿田 享男
東 京・ 清水 章
東 京・ 大瀧 由紀子
神奈川・ 眞田 太郎
大 阪・ 和田 晃

奈良・潮田 満也
 岡山・小山 久須美
 新潟・成田 一衛
 山形・佐藤 信一
 (他2名)

4. 研究・学会・支援助成事業

腎臓に関する学会開催・運営、及び腎臓に関する研究会など研究団体が実施する研究・調査活動等を支援するための助成

助成審査委員会において各案件ごとに審査の上、次の研究機関、研究グループ、研究課題および研究会、学会に対して76,957,000円の助成を行った。

(1) 研究助成 (敬称略)	11 案件	65,035,000円
1) 腎疾患の発症・病態生理と進展防止に関する研究会		
東京女子医科大学 腎臓内科学・新田 孝作		19,100,000円
2) 腎不全研究会		
東海大学医学部 腎内分泌代謝内科・深川 雅史		500,000円
3) 城東地域の腎臓病の病態と治療研究会		
医療法人社団 韃生会 メディカルプラザ篠崎駅西口・佐中 孜		700,000円
4) 日本女性腎臓病医の会		
京都華頂大学 現代家政学部 食物栄養学科・武曾 惠理		390,000円
5) 腎代替療法研究会		
聖路加国際病院 腎臓内科・中山 昌明		2,000,000円
6) 腎泌尿器癌研究会		
東京女子医科大学 泌尿器科学・田邊 一成		27,300,000円
7) 高知県腎泌尿器疾患研究会		
高知大学 医学部 泌尿器科学講座・井上 啓史		1,500,000円
8) 日欧米心臓血管外科研究交流会		
京都大学大学院医学研究科 器官外科学講座心臓血管外科・湊谷 謙司		4,000,000円
9) 千葉大学先端応用外科学教室記念事業		
千葉大学大学院医学研究院 先端応用外科学・松原 久裕		7,895,000円
10) 電解水透析研究会		
聖路加国際病院 腎臓内科・中山 昌明		1,150,000円
11) 兵庫慢性腎臓病対策研究会		
兵庫医科大学 内科学 腎透析科・倉賀野 隆裕		500,000円

(2) 学会助成 (敬称略)	7 案件	11,922,000 円
1) 日本腎臓リハビリテーション学会学術集会 (第10回) 聖マリアンナ医科大学 腎臓・高血圧内科・ 柴垣 有吾		1,567,000円
2) 日本透析クリアランスギャップ研究会学術集会 (第15回) 医療法人社団 善仁会 横浜第一病院・宮本 雅仁		38,000円
3) 日本腎不全看護学会学術集会・総会 (第22回) (医) 徳洲会 札幌東徳洲会病院・定本 高子		561,000円
4) ポドサイト研究会 (第4回) 千葉大学大学院 医学研究院 腎臓内科学・ 浅沼 克彦		199,000円
5) 日本高血圧学会総会 (第42回) 獨協医科大学 循環器・腎臓内科・石光 俊彦		1,938,000円
6) 日本消化器外科学会総会 (第74回) 東京慈恵会医科大学外科学講座 消化器外科・ 矢永 勝彦		5,272,000円
7) 日本小児感染症学会総会・学術集会 (第51回) 旭川医科大学 小児科学講座・東 寛		2,347,000円

5. 公募助成事業

腎臓に関する研究と腎不全医療の発展を支援し、腎疾患の予防、腎疾患患者のQOL向上を図るため、腎不全病態研究助成として、「腎性貧血」「腎性骨症」に対する研究助成

令和元年11月21日、浜松町 東京會館に於いて開催した選考委員会にて、令和元年度対象者下記28名に対して20,750,000円の助成が決定した。

(敬称略)

1. 東京大学医学部附属病院 循環器内科 佐藤 達之
2. 東海大学医学部 基盤診療学系臨床薬理学 本島 英
3. 北里大学獣医学部 実験動物学研究室 佐々木 宣哉
4. 岡山大学大学院 医歯薬学総合研究科 腎・免疫・内分泌代謝内科学 辻 憲二
5. 徳島大学大学院 医歯薬学研究部 腎臓内科学分野 安部 秀斉
6. 京都府立医科大学大学院 医学研究科 小児科学 西田 眞佐志
7. 自治医科大学附属さいたま医療センター 栄養部 大河原 晋
8. 金沢大学 保健管理センター／附属病院 腎臓内科 清水 美保
9. 南魚沼市民病院 内科 伊藤 聖学
10. 奈良県立医科大学 腎臓内科学講座 田川 美穂
11. ときわ会 余丁町クリニック 海上 耕平
12. 岐阜薬科大学 生命薬学大講座 生化学研究室 五十里 彰

13. 大阪大学大学院 医学系研究科 腎臓内科学 島田 果林
14. 国立大学法人徳島大学 大学院医歯薬学研究部 臨床食管理学分野 竹谷 豊
15. 公立大学法人 大分県立看護科学大学 看護学部 人間科学講座 岩崎 香子
16. 東京大学 先端科学技術研究センター 臨床エピジェネティクス 丸茂 丈史
17. 国立大学法人 熊本大学大学院・生命科学研究部 薬物治療設計学分野 丸山 徹
18. 国際医療福祉大学 臨床医学研究センター 山王病院 腎臓内科 竹中 恒夫
19. 徳島大学 医学部 医科栄養学科 応用栄養学分野 瀬川 博子
20. 日本鋼管病院 腎臓内科 田尻 瑛子
21. 熊本大学大学院 生命科学研究部腎臓内科学講座 栗原 孝成
22. 東京慈恵会医科大学 腎臓・高血圧内科 中島 章雄
23. 千葉大学医学部附属病院 腎臓内科・総合医療教育研修センター 若林 華恵
24. 望星平塚クリニック 須賀 孝夫
25. 名古屋共立病院 腎臓内科 水越 俊博
26. 自治医科大学 内科学講座 腎臓内科学部門 前嶋 明人
27. 地方独立行政法人 大阪府立病院機構 大阪母子医療センター 腎・代謝科 藤原 香緒里
28. 虎の門病院 腎センター内科 星野 純一

6. 調査研究事業

腎疾患患者さんの治療の向上と普及を図るため、腎臓に関する調査研究として、J-DOPPS第7期調査（日本における血液透析の治療方法と患者の予後についての調査）の実施

- (1) 令和元年7月よりJ-DOPPS第7期調査研究を開始した。
Arbor Research、研究参加施設（48施設）、協賛企業（3社）と契約を締結した。
- (2) 研究計画書に基づき、研究参加施設より透析登録調査、患者背景調査、患者経過調査、研究実施責任医師調査等のデータ収集を開始した。
- (3) 令和元年6月29日、第64回日本透析医学会学術集会・総会にてDOPPSシンポジウムを開催し、来場者は約300名であった。
- (4) 令和元年11月、倫理審査委員会へ継続申請を行い承認を得た。
- (5) ステアリング委員会
 - ・令和元年10月15日 メール会議にて、第65回日本透析医学会学術集会・総会のDOPPSシンポジウム開催について話し合った。
 - ・令和2年1月17日 メール会議にて、研究案件について話し合った。
 - ・令和2年2月9日 学士会館に於いて、会議・研究の進め方、第65回日本透析医学会学術集会・総会のDOPPSシンポジウムプログラムについて話し合った。
- (6) 令和2年3月11日、丸ビルホール&コンファレンススクエアにてスポンサー企業打ち合わせ会を開催し、第65回日本透析医学会学術集会・総会におけるDOPPSシンポジウムの共催について話し合った。
- (7) 財団ホームページにて、J-DOPPSの集計データDopps Practice Monitor (DPM)を公開した。

7. 透析療法従事職員研修事業

透析に携わる医療従事者の透析医療の基礎的な知識と技術の向上を目指すための研修の実施

- (1) 令和元年7月20日、21日大宮ソニックシティに於いて、医師、看護師、准看護師、臨床工学技士、臨床検査技師、衛生検査技師、管理栄養士、栄養士、薬剤師を対象に集中講義を行い、引き続き全国184の実施指定施設に於いて、医師は35時間（1週間）、看護師、准看護師、臨床工学技士は透析経験年数により70～140時間（2～4週間）の実習を行った。受講者総数は1,227名、そのうち実習修了者237名に対し、修了証書を交付した。
- (2) 令和元年11月27日、浜松町 東京會館に於いて透析療法従事職員研修運営委員会を開催し、令和元年度の反省と令和2年度の企画立案を行った。

8. 褒賞事業

腎臓学の研究に関する注目すべき業績に対する褒賞

- (1) 令和元年10月16日、浜松町 東京會館に於いて褒賞選考委員会を開催し、令和2年度日本腎臓財団賞・学術賞の受賞者選考を行い、次の3名の表彰を決定した。

(敬称略)

日本腎臓財団賞	榎野博史	(国立大学法人 岡山大学 学長)
学術賞	福原俊一	(京都大学 医学研究科 教授)
学術賞	和田隆志	(金沢大学大学院 医薬保健学総合研究科 腎臓内科学 教授)

また、功労賞は次の1名の表彰を財団運営会議にて決定した。

(敬称略)

功 勞 賞	鈴木正司	(社会福祉法人 新潟市社会事業協会 信楽園病院附属有明診療所)
-------	------	---------------------------------

令和2年2月14日、浜松町 東京會館に於いて令和2年度日本腎臓財団賞、学術賞、功労賞の表彰を行った。

- (2) 令和元年10月2日、浜松町 東京會館に於いて令和元年度日本腎臓財団賞・学術賞・功労賞の受賞者座談会を開催し、座談会記録を雑誌「腎臓」VOL. 42に収録した。

9. 雑誌発行事業

- (1) 雑誌「腎臓」

腎臓に関する医療者を対象として治療・研究などの情報掲載した雑誌の発行

- 1) 雑誌「腎臓」VOL. 42を3,500部発行し、関連医療施設に無償で配布した。
- 2) 令和元年8月16日、浜松町 東京會館に於いて編集委員会を開催し、VOL. 42 及び今後の企画について話し合った。

(2) 雑誌「腎不全を生きる」

透析患者さん・およびご家族の方々を対象に腎臓病に関する知識や情報、栄養・食事・クスリ・合併症のことなど、日々の生活に役立つ雑誌の発行

- 1) 雑誌「腎不全を生きる」VOL. 60を42,500部、VOL. 61を42,500部発行し、関連医療施設に無償で配布した。
- 2) 令和元年6月28日、パシフィコ横浜に於いて編集委員会を開催し、VOL. 61及び今後の企画について話し合った。

10. CKD（慢性腎臓病）対策推進事業

CKDの正しい知識と予防の大切さを一般の方に広く知っていただき、CKD予防の促進を図るための事業

- (1) ACジャパンの2020年度支援キャンペーンに応募し採択されたことから、慢性腎臓病（CKD）啓発活動のための公共広告開始に向け準備を進めた。
- (2) 令和2年1月31日、浜松町 東京會館に於いてCKD対策推進委員会を開催し、ACジャパン支援キャンペーンに伴う広報活動推進のため、慢性腎臓病（CKD）に関する冊子作成及びホームページ作成について話し合った。
- (3) CKDセミナー in 東京
令和2年2月15日、有楽町朝日ホールに於いて、『CKDセミナー in 東京「えっ！？8人に1人が・・・あなたも慢性腎臓病（CKD）の予備群かもしれません。」』と題し、796名の参加を得て慢性腎臓病（CKD）についてのセミナーを開催した。後日、朝日新聞全国版朝刊土曜別刷「be」、朝日新聞デジタルに記事を掲載した。
- (4) 冊子作成
慢性腎臓病（CKD）予防の大切さを一般の方に広くご理解いただくための冊子「CKDをご存じですか？～腎臓を護ることは命を守ることです」を15,000部作成した。

11. 臓器移植普及推進月間活動に対する協力

移植医療について広く一般にご理解いただき、腎臓移植を推進するための協力

令和元年10月、臓器移植普及推進月間の諸行事、及び10月19日、青森県リンクモア平安閣市民ホールで開かれた第21回臓器移植推進国民大会に厚生労働省、青森県、日本臓器移植ネットワークと共に主催として協力した。

Ⅱ 処 務 の 状 況

1. 役員に関する事項

(1) 役員

令和元年6月7日現在（50音順）

会 長	高 部 豊 彦	元東日本電信電話株式会社 代表取締役社長、 日本郵便株式会社 社外取締役
理 事 長	秋 澤 忠 男	昭和大学医学部内科学講座腎臓内科学部門客員教授
理 事	相 京 重 信	元SMB C日興証券株式会社会長、橋本総業株式会社 社外取締役
理 事	秋 田 瑞 枝	弁護士、ひのき総合法律事務所所長
理 事	内 山 英 世	公認会計士、朝日税理士法人顧問
理 事	中 川 隆 進	元日本銀行政策委員会政策委員
理 事	中 山 恒 博	東海東京フィナンシャル・ホールディングス株式会社 取締役
理 事	菱 田 明	浜松医科大学名誉教授
理 事	平 方 秀 樹	医療法人医心会福岡腎臓内科クリニック理事長
理 事	前 波 輝 彦	医療法人あさお会あさおクリニック理事長
理 事	水 附 裕 子	一般社団法人日本腎不全看護学会評議員
理 事	御手洗 哲也	埼玉医科大学名誉教授
監 事	大 塚 美智子	公認会計士、大塚公認会計士事務所所長
監 事	原 茂 子	原プレスセンタークリニック院長

(2) 役員会

開催年月日・場所	議 案	議 事 結 果
第23回理事会 令和元年5月17日 浜松町東京會館 (東京都港区浜松町 2丁目4番1号)	1. 特定費用準備資金設定承認の件	原案どおり満場一致で可決
	2. 平成30年度(自平成30年4月1日から至平成31年3月31日)事業報告及び決算報告承認の件	原案どおり満場一致で可決
	3. 評議員会の日時、場所及び目的である事項等の件	原案どおり満場一致で可決
	4. 評議員選定委員選任の件	原案どおり満場一致で可決
第24回理事会 令和元年6月7日 浜松町東京會館 (東京都港区浜松町 2丁目4番1号)	1. 代表理事並びに業務執行理事選定の件	原案どおり満場一致で可決
	2. 顧問選任の件	原案どおり満場一致で可決
第25回理事会 令和元年9月11日	1. 当財団の主たる事務所移転に関する定款一部改訂承認を評議員会の決議省略の方法により決議する件	書面表決により全員一致で可決
第26回理事会 令和元年10月15日	1. 当財団の主たる事務所移転承認の件	書面表決により全員一致で可決
第27回理事会 令和2年2月14日 浜松町東京會館 (東京都港区浜松町 2丁目4番1号)	1. 令和2年度(自令和2年4月1日から至令和3年3月31日)事業計画・正味財産増減予算書の件	原案どおり満場一致で可決
	2. 評議員会の日時、場所及び目的である事項等の件	原案どおり満場一致で可決
	3. 特定個人情報取扱規程、公募助成選考委員会規程一部改訂の件	原案どおり満場一致で可決
	4. 一般寄付金の使途承認の件	原案どおり満場一致で可決

2. 評議員に関する事項

(1) 評議員

令和元年6月7日現在（50音順）

氏名	勤務地
安藤 亮一	武蔵野赤十字病院副院長
五十嵐 隆	国立研究開発法人国立成育医療研究センター理事長
伊丹 儀友	医療法人友秀会伊丹腎クリニック理事長
伊藤 貞嘉	公立刈田総合病院 特別管理者
上田 善彦	獨協医科大学埼玉医療センター病理診断科名誉教授
内田 明子	聖隷横浜病院 総看護部長
大石 義英	東亜大学医療学部医療工学科教授
衣笠 えり子	昭和大学横浜市北部病院内科客員教授
小林 修三	医療法人沖縄徳洲会湘南鎌倉総合病院院長代行
小林 美奈	弁護士、古賀総合法律事務所
西 慎一	神戸大学大学院医学研究科腎・免疫内科学分野 腎臓内科学部門教授
西沢 邦浩	日経BP社日経BP総研メディカル・ヘルスラボ客員研究員
新田 孝作	東京女子医科大学第四内科学教授
長谷川 芳樹	弁護士、創英国際特許法律事務所所長
平田 純生	熊本大学大学院生命科学研究部・薬学部臨床薬理学分野教授
八木澤 隆	自治医科大学腎泌尿器外科学講座腎臓外科学部門教授
山本 裕康	東京慈恵会医科大学腎臓・高血圧内科教授
和田 隆志	金沢大学大学院医薬保険学総合研究科腎臓内科学教授

(2) 評議員会

開催年月日・場所	議 案	議 事 結 果
第19回評議員会 令和元年6月7日 浜松町東京會館 (東京都港区浜松町 2丁目4番1号)	1. 特定費用準備資金設定承認の件	原案どおり満場 一致で可決
	2. 平成30年度(自平成30年 4月1日から至平成31年3月3 1日)事業報告及び決算報告承認の 件	原案どおり満場 一致で可決
	3. 理事・監事選任の件	原案どおり満場 一致で可決
第20回評議員会 令和元年9月26日	1. 当財団の主たる事務所移転に關す る定款一部改訂承認の件	書面表決により 全員一致で可決
第21回評議員会 令和2年2月14日 浜松町東京會館 (東京都港区浜松町 2丁目4番1号)	1. 令和2年度(自令和2年4月1日 から至令和3年3月31日)事業 計画・正味財産増減予算書の件	原案どおり満場 一致で可決

3. 許可・認可に関する事項
該当事項なし
4. 契約に関する事項
令和元年7月31日、事務所移転の為、賃貸借契約を締結した。
5. 登記に関する事項
(1) 令和元年7月4日、代表理事、理事、評議員、監事の退任・就任・重任登記、会計監査人の重任登記を行った。
(2) 令和元年10月24日、事務所移転登記を行った。
6. 行政庁指示に関する事項
該当事項なし
7. その他特記事項
(1) 令和元年9月9日、東京都文京区から東京都千代田区へ事務所を移転した。
(2) 令和2年2月28日、内閣府公益認定等委員会による定期立入検査があった。

以上

令和元年度事業報告附属明細書

令和元年度事業報告には、「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則」第34条第3項に規定する附属明細書「事業報告の内容を補足する重要な事項」が存在しないので作成しない。